

啼鶯日送千門曉
宮樹晴含萬井煙

成家
榎井末美

啼鶯日送千門曉
宮樹晴含萬井煙

成家
立谷青霞

啼鶯日送千門曉
宮樹晴含萬井煙

成家
志岐陽華

啼鶯日送千門曉
宮樹晴含萬井煙

師範正
秦鶴芳

啼鶯日送千門曉
宮樹晴含萬井煙

師範正
楠森沙登

啼鶯日送千門曉
宮樹晴含萬井煙

師範正
鹿毛純光

啼鶯日送千門曉
宮樹晴含萬井煙

師範
三好香華

啼鶯日送千門曉
宮樹晴含萬井煙

師範
伊良子真紀

啼鶯日送千門曉
宮樹晴含萬井煙

師範
岩谷翠岱

啼鶯日送千門曉
宮樹晴含萬井煙

準師範
岡野綠泉

啼鶯日送千門曉
宮樹晴含萬井煙

準師範
池田靜玉

啼鶯日送千門曉
宮樹晴含萬井煙

二段
沖明子

意到不嫌山近郭春歸聊與客
登臺芳壻誰識真娘墓水品
曾遭陸羽素滿路碧烟空自散

成家
石橋芝水

情隨事遷感慨係之
笑向之所欣俛仰之

成家
阪井浩子

情隨事遷感慨係之
笑向之所欣俛仰之

成家
下川沙舟

情隨事遷感慨係之
笑向之所欣俛仰之

師範正
小川玉燁

猶不能不以之興懷况
脩短隨化終期於盡

師範正
村內綽子

以為陳迹猶不能不以
之興懷况脩短隨化

師範正
熊谷壽香

情隨事遷感慨係之
笑向之所欣俛仰之

師範正
山口裕華

情隨事遷感慨係之
笑向之所欣俛仰之

師範
平田春蓉

輒得於已快然自足不
知老之將至及其所之

師範
松永美貂

快然自足不知老之將至及
其所之既倦情隨事遷感
慨係之笑向之所欣俛仰

六段
佐藤銀川

以為陳迹猶不能不以
之興懷况脩短隨化

準三段
井口美代子

情隨事遷感慨係之
笑向之所欣俛仰之

準四段
緒方具美

今日仰ぐ外輪山は霧ふかしく
阿蘇津姫もあそぶ日なし

師 範
江 口 翠 葉

地球は緑を著る好き

直子の詩

青 桃

師 範 正
白 石 青 桃

今日仰ぐ外輪山は霧ふかしく
阿蘇津姫もあそぶ日なし

直子の詩

師 範 正
宮 本 虹 鶴

今日仰ぐ外輪山は霧ふかしく
阿蘇津姫もあそぶ日なし

直子の詩

師 範 正
岡 由 香 里

天領の面影残す鮎の宿

若谷カツ子

成 家
堺 峰 雪

天領の面影残す鮎の宿

若谷カツ子

成 家
足 立 和 子

今日仰ぐ外輪山は霧ふかしく
阿蘇津姫もあそぶ日なし

4 級
下 村 和 代

今日仰ぐ外輪山は霧ふかしく
阿蘇津姫もあそぶ日なし

直子の詩

隆 道

準 三 段
佐 々 木 隆 道

天領の面影残す鮎の宿

若谷カツ子

準 師 範
長 谷 川 英 子

地球は緑を著る好き

直子の詩

準 師 範
樫 原 秀 子

今日仰ぐ外輪山は霧ふかしく
阿蘇津姫もあそぶ日なし

直子の詩

英 一 郎

師 範
佐 田 英 一 郎

今日仰ぐ外輪山は霧ふかしく
阿蘇津姫もあそぶ日なし

直子の詩

師 範
徳 永 直 恵



五段 濱崎秀代



六段 近藤禮華



師範 久保山紫玉



師範正 鳥飼真理



師範正 藤永溪泉



成家木下美鳳



小4.準2級 光武栞奈



小4.二段 岡陸斗



小3.準二段 前田仁美



小3.準6級 下村しょうた



小2.準4級 さか元ふみ



小2.5級 久保桜子



小1.準7級 やまたきあやせ



中1.六段 藤崎涼菜



中3.特待生 高田栞奈



中1.準特待生 高橋知暉



小6.準六段 佐々木更



小6.準特待生 辻本千夏



小5.三段 白幡朱莉



小5.準六段 野見山詠音

半紙規定優秀作品

(5月末日締切分)



師範正
竹本 松華

師範正
岡 由香里

師範正
中野 清泉

成家
志岐 陽華

成家
立谷 青霞

成家
細田 青秀

成家
植井 末美



師範
津村 桂扇

師範
鶴丸 石火

師範
徳永 直恵

師範
由留部 裕美子

師範正
村上 嘉子

師範正
白石 青桃

師範正
重富 翠柳



準六段
久藤 蓬生

六段
郡谷 博子

準師範
竹清 成翠

準師範
池田 静玉

師範
森 小筑

師範
永田 月精

師範
林 碧水



準三段
川副 雅子

三段
菊竹 翠香

四段
高森 美奈子

準五段
小川 未鈴

準五段
川村 美華

五段
荻原 白龍

五段
宮崎 茜霞



2級
吉之元 萌衣

1級
久保 夕希乃

準初段
庄司 悦子

初段
峰松 千代子

準二段
河野 風紗

二段
渡辺 夢生

準三段
古賀 雅美



準7級
御手洗 彩香

7級
横田 千里

準6級
荻原 朝美

準4級
尾形 浩美

4級
甲田 華泉

準3級
伊東 京子

準2級
江口 正恵

半紙随意优秀作品 (5月末日締切分)



師範正 満江寿琴 師範正 上津原踏月 師範正 森崎秀鈴 師範正 末森水苑 成家 小村佳将 成家 茶圃光晴 成家 伊良子喜代



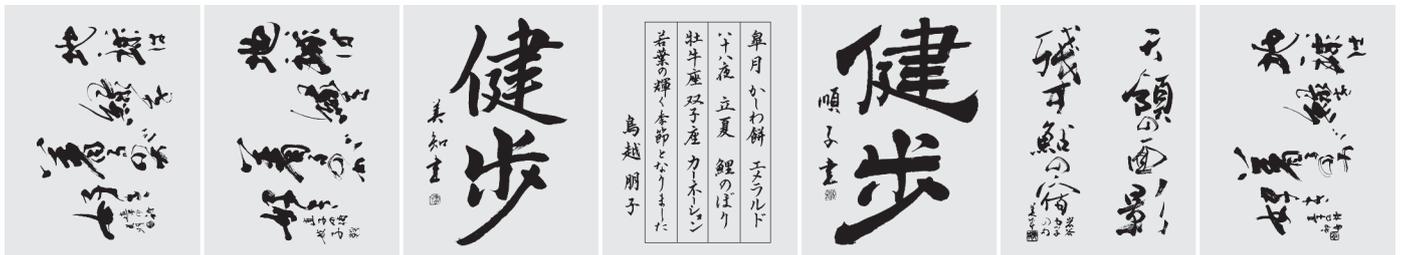
師範 重松周華 師範 副島真知子 師範 松本彩里 師範 安倍彌榮子 師範 井上玲秀 師範正 佐田馨春 師範正 福田喜久恵



準六段 力岡紫烽 六段 時枝玲子 準師範 集路美嬋 準師範 鎌田敬子 準師範 山中淑真 師範 豊嶋祥波 師範 久保象雲



準三段 大森京子 準三段 中谷桂水 三段 坂本孝子 三段 高橋夢華 四段 河津美香 準五段 鈴木華鈴 五段 安達幽處



3級 諫山美明 3級 岡田敏子 準2級 水野美知子 2級 鳥越朋子 準1級 工藤順子 初段 宮澤美成 初段 中尾初音



準8級 小野裕子 準6級 佐藤幸美 準5級 弥永淳子 5級 久富啓介 準4級 阿南真由美 4級 下村和代 準3級 久米はるな

半紙随意(臨書)優秀作品 (5月末日締切分)



師範正
岩井紫翠

師範正
小川玉輝

師範正
池本尚子

師範正
園田輝美

成家
堺峰雪

成家
川上和子

成家
安仲夕蟬



師範
長尾益子

師範
久保菜雨

師範
岡部朱美

師範
武田淳子

師範
松永美貂

師範
尾崎和葉

師範正
野中静波



準六段
鹿嶋ひかり

準六段
新竹麗月

六段
佐田理子

六段
続米ノブ子

六段
中村三智枝

準師範
川元美峰

準師範
松下真子



準五段
廣瀬純子

準五段
池田和月

準五段
川鍋敬子

五段
堤布佐代

五段
石松真翠

五段
矢治光子

五段
坂田真澄



2級
片渕さくら

1級
藤野睦子

準三段
中尾祐子

三段
草場純子

三段
長野誓子

準四段
岩坪有香

準四段
多賀明日香



6級
佐藤民子

5級
高橋玉華

4級
藤井桂子

準3級
尾家節子

準3級
谷口里華

3級
松永留美

3級
島本奈菜

半紙優秀作品 (5月末日締切分)



準8級 藤村 佑 | 8級 出口 正隆 | 準7級 河野 結 | 7級 さかい 杏香 | 6級 西岡 ちさ | 準5級 しの村かんな | 8級 田中りょうか



8級 向井 柊隆 | 準7級 千住 ゆづき | 準7級 永松 倫 | 7級 八谷 侑菜 | 6級 吉田 唯菜 | 準5級 緒方 南実 | 準3級 篠崎 ゆうと



準初段 井上 咲 | 準二段 峯 優月 | 準三段 内山 祐衣 | 準四段 内田 珠々菜 | 準8級 加藤 悠真 | 準8級 神保 実愛 | 準8級 豆田 ゆうすけ



準五段 大橋 遥夏 | 6級 下村 芽姫 | 準5級 野口 蒼太 | 4級 樋口 りいさ | 3級 大坪 健翔 | 2級 黒岩 佳歩 | 準1級 澁田 咲里



準初段 金石 みのり | 初段 高木 陽依 | 初段 浦辺 琴子 | 準二段 末綱 萌花 | 二段 長谷部 瑞希 | 準三段 甲斐田 一樹 | 準四段 高橋 まお



六段 白濱 あおい | 準5級 大谷 ゆきな | 準4級 島本 亜紀 | 4級 田 佳禾 | 2級 小林 玲太 | 準1級 池下 采良 | 1級 中山 このか

毛筆・硬筆優秀作品 (5月末日締切分)



二段 柴田 怜 準三段 益田 謙信 三段 田尻 智菜 準四段 岩本 大樹 準五段 森田 織江 準五段 中村 寧 五段 後藤 侑奈



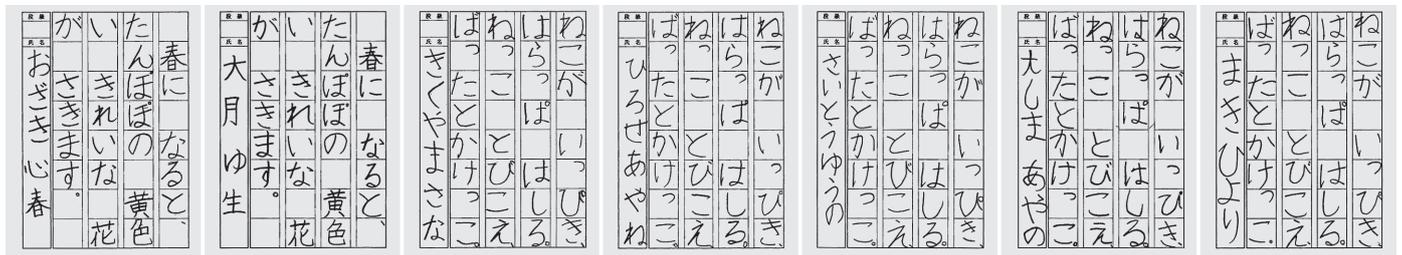
五段 原田 葵 五段 清川 詩乃 特待生 中川 夢理 5級 中本 伊織 準3級 古林 朱音 2級 宮部 楓嘉 初段 木村 葵



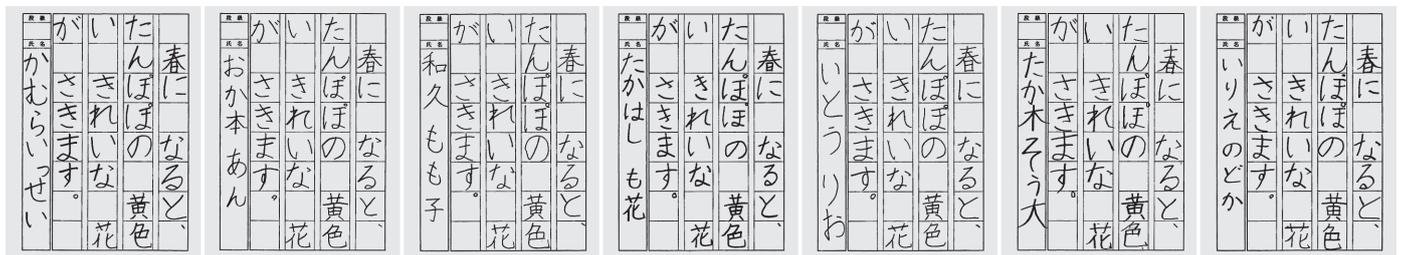
準特待生 木村 瑛菜 準特待生 中根 咲 特待生 小山 心優 準3級 下清水 美柚 準二段 永松 里菜 準三段 長島 えみ 準五段 長 花音



準三段 柴田 歩実 準四段 井上 明香 四段 水田 柔良 準五段 田代 亜実 五段 古瀬 桃子 準六段 阿部 みなみ 準六級 安藤 心咲



6級 おざき 心春 6級 大月 悠生 準8級 菊山 紗奈 準8級 ひろせあやね 8級 斉藤 優乃 準6級 大しまあやの 準5級 まき ひより



8級 か村 いっせい 8級 岡本 あん 準7級 和久 もも子 7級 たかはしも花 準6級 伊藤 りお 準6級 高木 蒼大 6級 入江 和

硬筆優秀作品 (5月末日締切分)

言葉遊びにはいろいろあり、それぞれに楽しさがあります。言葉遊びを楽しんでみましょう。 *** 舟森よしの	言葉遊びにはいろいろあり、それぞれに楽しさがあります。言葉遊びを楽しんでみましょう。 *** 森原悠	言葉遊びにはいろいろあり、それぞれに楽しさがあります。言葉遊びを楽しんでみましょう。 *** 永松倫	言葉遊びにはいろいろあり、それぞれに楽しさがあります。言葉遊びを楽しんでみましょう。 *** 田口絵梨	言葉遊びにはいろいろあり、それぞれに楽しさがあります。言葉遊びを楽しんでみましょう。 *** 新江綾香	言葉遊びにはいろいろあり、それぞれに楽しさがあります。言葉遊びを楽しんでみましょう。 *** 松尾楓花	春に、はるる、たんぼの、黄色い、きれいな、花が、さきます。 *** あねがわそうた
---	---	---	--	--	--	--

準4級 舟森よしの 4級 森原悠 4級 永松倫 3級 田口絵梨 準2級 新江綾香 2級 松尾楓花 準8級 姉川そうた

漢字を分類するとき形のうえて目印とするものを部首といへんやつくりなどの部分が使われます。 *** 大石芽衣紗	漢字を分類するとき形のうえて目印とするものを部首といへんやつくりなどの部分が使われます。 *** 黒岩佳歩	漢字を分類するとき形のうえて目印とするものを部首といへんやつくりなどの部分が使われます。 *** 村上ななみ	言葉遊びにはいろいろあり、それぞれに楽しさがあります。言葉遊びを楽しんでみましょう。 *** 吉崎優心	言葉遊びにはいろいろあり、それぞれに楽しさがあります。言葉遊びを楽しんでみましょう。 *** 大和南風	言葉遊びにはいろいろあり、それぞれに楽しさがあります。言葉遊びを楽しんでみましょう。 *** 岩永凜太郎	言葉遊びにはいろいろあり、それぞれに楽しさがあります。言葉遊びを楽しんでみましょう。 *** かい田はるな
---	--	---	--	--	---	--

準3級 大石芽衣紗 準4級 黒岩佳歩 準8級 村上ななみ 準8級 吉崎優心 7級 大和南風 準5級 岩永凜太郎 5級 かい田はるな

漢字を分類するとき形のうえて目印とするものを部首といへんやつくりなどの部分が使われます。 *** 小野智輝	漢字を分類するとき形のうえて目印とするものを部首といへんやつくりなどの部分が使われます。 *** 高橋愛葉	漢字を分類するとき形のうえて目印とするものを部首といへんやつくりなどの部分が使われます。 *** 中川ひなの	漢字を分類するとき形のうえて目印とするものを部首といへんやつくりなどの部分が使われます。 *** 宮澤香帆	漢字を分類するとき形のうえて目印とするものを部首といへんやつくりなどの部分が使われます。 *** 岡陸斗	漢字を分類するとき形のうえて目印とするものを部首といへんやつくりなどの部分が使われます。 *** 数野星空	漢字を分類するとき形のうえて目印とするものを部首といへんやつくりなどの部分が使われます。 *** 告野尊一
--	--	---	--	---	--	--

7級 小野智輝 4級 高橋愛葉 準3級 中川ひなの 準2級 宮澤香帆 準1級 岡陸斗 初段 数野星空 二段 告野尊一

次の日、昼休みに春花はろううで、勇太とすれちがった。そのとき、春花は、その、何かをわたされた。わたすと、勇太は急いで行きました。 *** 石井佑汰	次の日、昼休みに春花はろううで、勇太とすれちがった。そのとき、春花は、その、何かをわたされた。わたすと、勇太は急いで行きました。 *** 谷川世莉	次の日、昼休みに春花はろううで、勇太とすれちがった。そのとき、春花は、その、何かをわたされた。わたすと、勇太は急いで行きました。 *** 明石結宇	次の日、昼休みに春花はろううで、勇太とすれちがった。そのとき、春花は、その、何かをわたされた。わたすと、勇太は急いで行きました。 *** 里 綸華	次の日、昼休みに春花はろううで、勇太とすれちがった。そのとき、春花は、その、何かをわたされた。わたすと、勇太は急いで行きました。 *** 田崎咲良	漢字を分類するとき形のうえて目印とするものを部首といへんやつくりなどの部分が使われます。 *** 柏井香乃	漢字を分類するとき形のうえて目印とするものを部首といへんやつくりなどの部分が使われます。 *** 田中くるみ
--	--	--	--	--	--	---

準2級 石井佑汰 二段 谷川世莉 二段 明石結宇 三段 里 綸華 準4級 田崎咲良 8級 柏井香乃 準7級 田中くるみ

次の日、昼休みに春花はろううで、勇太とすれちがった。そのとき、春花は、その、何かをわたされた。わたすと、勇太は急いで行きました。 *** 西銘明日美	次の日、昼休みに春花はろううで、勇太とすれちがった。そのとき、春花は、その、何かをわたされた。わたすと、勇太は急いで行きました。 *** 甲斐田一樹	次の日、昼休みに春花はろううで、勇太とすれちがった。そのとき、春花は、その、何かをわたされた。わたすと、勇太は急いで行きました。 *** 上村未莉	次の日、昼休みに春花はろううで、勇太とすれちがった。そのとき、春花は、その、何かをわたされた。わたすと、勇太は急いで行きました。 *** 谷川遼太郎	次の日、昼休みに春花はろううで、勇太とすれちがった。そのとき、春花は、その、何かをわたされた。わたすと、勇太は急いで行きました。 *** 岩橋綾香	次の日、昼休みに春花はろううで、勇太とすれちがった。そのとき、春花は、その、何かをわたされた。わたすと、勇太は急いで行きました。 *** 吉田るな	次の日、昼休みに春花はろううで、勇太とすれちがった。そのとき、春花は、その、何かをわたされた。わたすと、勇太は急いで行きました。 *** 三浦茉実
---	---	--	---	--	--	--

準8級 西銘明日美 3級 甲斐田一樹 2級 上村未莉 準1級 谷川遼太郎 1級 岩橋綾香 準初段 吉田るな 初段 三浦茉実

私たちの体の動きと心の動きは密接に関係しています。例えば、私たちが悲しいときに泣く、楽しいときに笑う、というように、心の動きが体の動きを表れます。 *** 柴田 怜	私たちの体の動きと心の動きは密接に関係しています。例えば、私たちが悲しいときに泣く、楽しいときに笑う、というように、心の動きが体の動きを表れます。 *** 栗崎大輝	私たちの体の動きと心の動きは密接に関係しています。例えば、私たちが悲しいときに泣く、楽しいときに笑う、というように、心の動きが体の動きを表れます。 *** 松本 渉	私たちの体の動きと心の動きは密接に関係しています。例えば、私たちが悲しいときに泣く、楽しいときに笑う、というように、心の動きが体の動きを表れます。 *** 田崎美羽	私たちの体の動きと心の動きは密接に関係しています。例えば、私たちが悲しいときに泣く、楽しいときに笑う、というように、心の動きが体の動きを表れます。 *** 山根美咲	次の日、昼休みに春花はろううで、勇太とすれちがった。そのとき、春花は、その、何かをわたされた。わたすと、勇太は急いで行きました。 *** 村石怜奏	次の日、昼休みに春花はろううで、勇太とすれちがった。そのとき、春花は、その、何かをわたされた。わたすと、勇太は急いで行きました。 *** 三好海歩
---	---	---	---	---	--	--

準3級 柴田 怜 三段 栗崎大輝 準4級 松本 渉 四段 田崎美羽 準5級 山根美咲 準5級 村石怜奏 4級 三好海歩

硬筆優秀作品 (5月末日締切分)

私たちの体の動きと心の動きは密接に関係しています。例えば、私たちが悲しいときに泣く、楽しいときに笑うというように心の動きが体の動きに表れます。

ライオンは喜んでメスを迎えた。自分のオスは自分よりも小さく弱そうなることを注意深く確かめた。こうして思いがけなく自分の群れを初めて持つことになった。

六段 前田 結衣 準8級 吉崎 月渚 準7級 古賀 和成 準7級 合谷 萌唯 準1級 木村 光恵 初段 廣島 波奈 準二段 松本 優

ライオンは喜んでメスを迎えた。自分のオスは自分よりも小さく弱そうなることを注意深く確かめた。こうして思いがけなく自分の群れを初めて持つことになった。

ライオンは喜んでメスを迎えた。自分のオスは自分よりも小さく弱そうなることを注意深く確かめた。こうして思いがけなく自分の群れを初めて持つことになった。

準四段 中島 菜奈 準五段 黒川 結衣子 五段 増田 実優 五段 佐々木 日香 準六段 宮井 すす 準二段 阿久津 ほか 六段 永倉 優花

ライオンは喜んでメスを迎えた。自分のオスは自分よりも小さく弱そうなることを注意深く確かめた。こうして思いがけなく自分の群れを初めて持つことになった。

ライオンは喜んでメスを迎えた。自分のオスは自分よりも小さく弱そうなることを注意深く確かめた。こうして思いがけなく自分の群れを初めて持つことになった。

準1級 森本 実梨 1級 菊池 明璃 準初段 吉田 楓未 初段 深野 陽菜多 三段 大石 仁鼓 準三段 松本 雪希 三段 坂東 京祐

タイトルに凝る作家とそうではない作家。夏目漱石は後者の代表格で概ね素直な、名高い「デビ」作も猫伝とするか、それとも書き出した一文をそのまま使うかと考えていた。

タイトルに凝る作家とそうではない作家。夏目漱石は後者の代表格で概ね素直な、名高い「デビ」作も猫伝とするか、それとも書き出した一文をそのまま使うかと考えていた。

準六段 山田 寛子 六段 楠森 沙登 準師範 宮本 久美子 師範 笹原 典子 師範 井上 玲秀 師範正 阪井 浩子 師範正 木下 美鳳

タイトルに凝る作家とそうではない作家。夏目漱石は後者の代表格で概ね素直な、名高い「デビ」作も猫伝とするか、それとも書き出した一文をそのまま使うかと考えていた。

タイトルに凝る作家とそうではない作家。夏目漱石は後者の代表格で概ね素直な、名高い「デビ」作も猫伝とするか、それとも書き出した一文をそのまま使うかと考えていた。

準三段 沖田 三和子 準三段 坂東 藍子 三段 白濱 かずみ 準四段 土居 永愛 四段 永田 康子 準五段 小林 智子 五段 佐田 理子

タイトルに凝る作家とそうではない作家。夏目漱石は後者の代表格で概ね素直な、名高い「デビ」作も猫伝とするか、それとも書き出した一文をそのまま使うかと考えていた。

タイトルに凝る作家とそうではない作家。夏目漱石は後者の代表格で概ね素直な、名高い「デビ」作も猫伝とするか、それとも書き出した一文をそのまま使うかと考えていた。

準6級 大塚 実恵 準3級 松山 悦子 2級 北崎 友喜 準1級 湯谷 望 初段 工藤 美奈子 準三段 永田 裕子 二段 藤永 喜美子